

## アプリケーションカタログ メッキ液中の銅

関連業界	:	非鉄金属
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/酸化還元滴定
関連規格	:	-

### 1. 概要

銅の定量を一般的なEDTA溶液によるキレート滴定で求めるのではなく、酸化還元滴定にて求める測定例を示します。

試料に、純水，30% 酢酸溶液，10% 酢酸アンモニウム溶液とヨウ化カリウムを加えた後、電位差滴定法により0.01mol/L チオ硫酸ナトリウム溶液で当量点まで滴定します。当量点は、滴定曲線上の最大変曲点です。

チオ硫酸ナトリウム溶液の滴定量から、銅の濃度を算出します。

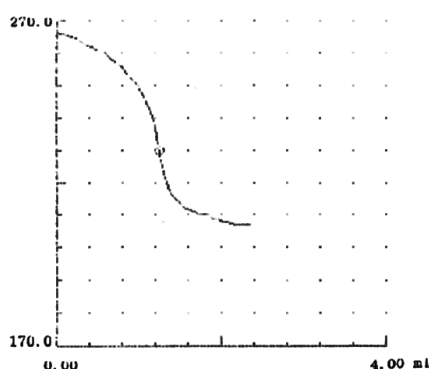
### 2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置（プリアンプリファイア：STD）
電極	:	白金電極 セラミック型比較電極

### 3. 試薬

滴定液	:	0.01mol/L チオ硫酸ナトリウム溶液（f=1.005）
溶媒	:	純水
添加試薬	:	30% 酢酸溶液，10% 酢酸アンモニウム溶液，ヨウ化カリウム

### 4. 測定例



—測定結果—

	Sample (g)	Titer (mL)	Copper (ppm)
1	0.3017	1.2664	2680.5
2	0.3046	1.2584	2638.2
3	0.3023	1.2652	2672.6
平均			2663.8
偏差			22.5
RSD (%)			0.8

—滴定曲線—

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>